

大阪支部 住吉大社へ初詣 海の守護神に祈願

1月6日、大阪支部は、小林泰之大阪支部長をはじめ執行部と森健輔新日本海フェリー職場委員、畑中智尋琵琶湖汽船職場委員が大阪市住吉区の住吉大社に参拝した。

住吉大社の神様（住吉大神）は、古くから海の守護神として知られており、奈良時代には、遣唐使派遣の際に海上安全の祈願をしていた。

境内にある石燈籠の多くは船舶関係者から奉納されたものである。住吉大社には毎年、海事関係者など、多くの人たちが参詣に訪れ、航海安全と安全操業、大漁を祈願している。今年も社殿で神職による海上安全の祈祷を受け、平和な海と組合員の安全航海・大漁満足を祈願した。

「海員だより」